

令和5年度
学校だより

瑞穂

札幌市立稲穂中学校
第5号
令和5年6月23日発行

学校教育目標 知性あふれ 逞しく生き抜く 心豊かな生徒の育成

旅行的行事を終えて [Part 3]

各班ごとに学習地や昼食場所を決め、札幌市内を移動する1学年野外学習は、1年生にとって最初の大きな行事です。途中、にわか雨にあたった生徒もいたようですが、全員が集合時刻に遅れることなく集合地点の札幌駅に戻って来ることができました。この活動で身に付けた力を、来年の宿泊学習、再来年の修学旅行へと繋げていってほしいと思います。

中学校生活初めての行事「野外学習」

1学年代表 須貝 海

新1年生が入学してから早3ヶ月。中学校生活にも慣れ、勉強や部活、委員会や係活動に一生懸命取り組んでいる様子が見られます。そんな中、1年間の中でも大きな行事である「野外学習」が6月9日に実施されました。

まだ学級の仲間の顔や名前が一致していないような時期である、4月の終わり頃から準備を進めてきました。札幌市内における班での自主研修を行うことになり、それぞれの班で見学先や昼食場所、移動手段などを決めました。ただ行きたいところに決定するのではなく、移動時間や見学に費やせる時間も考慮して決めなければならず、苦戦しながらも班で協力して計画を立てていました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、どの班も大きなトラブルなく自主研修を進めることができました。班によっては予定していた場所にうまくたどり着けなかったり、時間が足りなくなったりしましたが、目的地を変更するなど臨機応変に対応できていたようです。

自分たちの力で計画・実行し、仲間と助け合いながら活動することができ、学年目標である【自立】と【共生】の力を育むことができたのではないのでしょうか。この行事を通して身に付けた力を、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。

生徒感想文より

1年1組 齋藤 由藍

私は野外学習を通して、仲間と協力することを、改めて大切にしようと思った。そして当たり前のことだが、周りをよく見て行動する、ということも大切だと思った。

私が、この2つを大切にしたい理由は、仲間と協力しなければ何かを達成することは難しいからだ。私の班は、円山動物園に行ったが、途中、動物園への道がわからなくなってしまい困っていたが、仲間と一緒に道のりを確認しながら行くうちに、円山動物園にたどり着くことができた。

そして、周りをよく見て行動する、ということも大切にしたい。私の班は、実は3回ほど迷子になったし、一回だけ電車に乗り損ねている。これらの失敗は、私たちが周りをよく見ていなかったから起こったので、周りをよく見なければいけないと思った。しかし、一つも失敗せずに野外学習を終えたら、仲間と協力して解決することができないので、失敗をすることも悪いこととは言えない。

この野外学習を通して、私はこれから先も仲間との協力と、周りをよく見て行動するということを改めて大切にしようと思った。



野外学習を通して、私は周りの友達と協力することの大切さが改めて分かった。

私たちの班は、苗穂町にある醤油工場へと向かった。工場の方は私たちに、醤油ができるまでの過程や工場の機械について、一つ一つ丁寧に教えてくださった。質問に対しても、分かりやすい言葉で答えてくださった。醤油が作られるようになった時代の歴史や、醤油特有の香りについて詳しく教えていただいて、貴重な時間を過ごすことができたと思った。

次に私たちは、工場の方が教えてくださった近道でバス停へ向かった。周りにある自然や鉄道の歴史がまとめられた掲示物をゆっくり眺めながら、少しゆっくりと歩き過ぎたせいか、バスの出発までの時間がギリギリになり、走るはめになってしまった。結果的に何とか間に合ったが、もう少し時間を気にした方がよかったのではないか、という疑問が脳内で渦を巻いていた。バスが発車してから班のメンバーを見渡すと、焦りの表情は一

切なかった。むしろ慌ただしく走った先刻のことなど全くなかったような晴れ晴れとした笑顔だった。班の人と仲良くなれたのと同時に、今まで知らなかった一面を知ることができた一日だった。

私は友達と協力するというのはどういうことなのかが分かった。今回の野外学習の行き先や行き方も班全員で決めた。それぞれが必要事項を調べ、まとめて「野外学習」という一つの思い出として残ったのだから。もし一人だったら、道に迷って目的地に辿り着けなかったことだろう。しかし、班のメンバーがいることで、ちょっとした失敗も笑い飛ばせる安心感があった。これからの学校生活でも、友達と協力し、学年スローガンのもと、お互いに助け合っていきたい。

私は、この野外学習で、班で協力する大切さを知りました。野外学習は一人だけでは成功させることができなく、一人一人が稲穂中学校の一員として、係活動や班内での話し合いに真剣に取り組むことが大切だと感じました。

野外学習当日、私たちの班はサンピアザ水族館と、北海道博物館に行きました。サンピアザ水族館では、見たことのない魚たちにたくさん出会いました。水族館には「ドクターフィッシュ」や「ヒトデ」など、触ることのできる動物がいてわくわくしました。

次はお昼ご飯を食べに行きました。道に迷ったときには、お店の方に聞いて解決することができました。お昼ご飯で食べた「ごまそば」は弾力がしっかりあって、とてもおいしかったです。

次は北海道博物館に行ってきました。博物館の方に元気よくあいさつし、施設の方のお話を聞きました。その時に話していたマナーを守り、展示を見ました。その展示で、アイヌ文化や歴史の教科書に載っていない北海道の歴史を知り、今私たちがこのような学習ができていることの素晴らしさを改めて感じました。

私たちの班は迷ってしまうことがありましたが、お互いに協力し合うことができてよかったと思います。この野外学習で分かった反省点を改善し、次の宿泊学習、修学旅行に向けて、クラスの仲を深めていきたいと思いました。

